

深谷市手をつなぐ親の会 通信

ホームページ <http://www.lets-happy.net/tewotunagu/homepage.htm>

平成 19 年 1 月 5 日発行 第 10 号

編集・発行 梶山 實

電話・FAX 048-572-2863

謹賀新年

梶山 實

新年明けましておめでとうございます ご家族揃って、新年を迎えられたこととお喜び申し上げます
さて、昨年は「障害者自立支援法」の勉強から始まり、行政指導で4月スタート、10月本格実施と良く分らないまま、費用負担が増加した、医療費申請などの手間が増えたなどの1年でした。

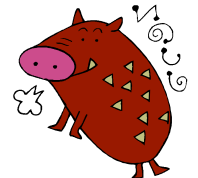
新聞やテレビの報道では「利用者や家族が利用料の負担増で困っている、施設の事業者が報酬減に苦慮している」など具体的に問題が出ている。障害者団体のアピールでは「出直せ！障害者自立支援法」でデモ行進も行われました。今年は昨年の問題点の改善や自治体での「地域生活支援事業」が進展する事を期待している。

親の会は「**子供を幸せにしよう**」を合言葉に活動し、**3つの施策**「1.親の結束強化、2.親の高齢化対策、3.他の障害者団体との協調・連携・交流」を実行して来ました。その幾つかを紹介します。

1.ホームページの作成(H18年7月) 徐々に情報を増やし、若い方々に活用して頂きます。この中に「Happy Shop」ページがあり、施設の販売品を紹介しています。色々な研修や集いに販売品を持参して、昨年は約10万円販売ができました。どうすれば理解されて販売できるかの勉強にもなりました。

2.他の障害者団体との連携については「タンポポクラブ」との意見交換、「ワークショップ チボリ」訪問、「生活ホーム深谷」(下記紹介)を訪問、やまびこ互助会の利用の希望があり、親の会に加入して頂きました。

3.親の会のPRについて、8月「深谷市健康保険センタ」、10月「福祉の市」、12月「障害者文化作品展」などに「親の会チラシ」を頒布致しました。徐々に「親の会」の問合せが増加して来ました。



今年も昨年から始めた**3つの施策**の充実に努めたいと思います。ご協力をお願いします。

施設紹介

手をつなぐ親の会メンバーで坂田正彦さんが運営されている「**生活ホーム深谷**」を紹介します。昨年10月、深谷市原郷にNPO法人「深谷・まち生活サポートの会」が埼玉県生活ホーム事業の一環として、知的障害者生活自立支援施設として開所された。施設は木造2階建、定員9名、6畳個室で、入居は知的障害もしくは身体障害をお持ちの方で、自立した生活を望みながらも家庭環境や住宅事情等でそれが出来ない方を対象にしています。



サービス内容は一人ひとりの個別支援計画に基づいた支援サービスを提供(○食事・健康管理、○就労・通勤・通所、○生活習慣の確立に必要な支援、○余暇利用、○金銭管理、○自立並びに社会参加に必要な支援)を行う。

問合せ 〒366-0035 深谷市原郷 947-2 TEL(FAX) 048-573-7339 パンフレットより掲示

環境ボランティアの実施

12月12日(火)「手をつなぐ親の会」と「たんぽぽ作業所保護者会」で協同して、深谷駅南口の落葉清掃およびタンポポ作業所の大掃除を行いました。

掃除用具は「埼玉県環境ボランティア事業支援費」1万円を活用させて頂きました。お疲れ様でした。



今後の行事予定

1. 2月4日(日)AM10:30-12:20「筆子とその愛」の映画が籠原「さくらめいと」で行われます。上映券がありますので、事務局まで申し込みください。
2. やまびこ互助会が4月からAIU保険に変わります。詳細は1月末に決まりますので、別途、加入変更の手続きを連絡します。(新規加入は12月から停止中)

配布物

1. 深谷市手をつなぐ親の会通信#10
2. 障害者自立支援法の課題資料...2頁
3. 機関紙「やまびこ」NO.175、176、177

親の会通信は2ヶ月前後に発行します。
情報がありましたら梶山まで連絡下さい